

2022年12月期 第1四半期決算短信〔SFRS(I)及びIFRS〕(連結)

2022年5月13日

上場会社名 YCPホールディングス(グローバル)リミテッド 上場取引所 東
 コード番号 9257 URL http://www.ycp.com
 代表者 (役職名)取締役兼グループCEO (氏名)石田 裕樹
 問合せ先責任者 (役職名)IR担当マネージャー (氏名)榎谷 徹 (TEL) 03-6804-3225
 四半期報告書提出予定日 2022年5月31日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有(機関投資家・メディア関係者、個人投資家向け)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年3月31日)

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2022年3月31日現在の株式会社みずほ銀行の対顧客電信物売買相場の仲値に基づき1米ドル=122.41円で換算された金額であります。

(1) 連結経営成績(累計)

(単位: 千米ドル(百万円)、%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率
2022年12月期 第1四半期	20,236 (2,477)	21.7%	2,163 (265)	35.8%	2,022 (248)	43.0%	1,249 (153)	57.6%	1,257 (154)	58.7%	△1,203 (△147)	-
2021年12月期 第1四半期	16,634 (2,036)	16.1%	1,593 (195)	85.2%	1,414 (173)	100.6%	792 (97)	198.7%	792 (97)	184.4%	156 (19)	-

(単位: 米ドル(円))

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2022年12月期 第1四半期	0.06 (7.72)	0.06 (7.72)
2021年12月期 第1四半期	0.05 (6.10)	0.05 (6.10)

(2) 連結財政状態

(単位: 千米ドル(百万円))

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率
2022年12月期 第1四半期	80,385 (9,840)	52,086 (6,376)	51,986 (6,364)	64.7%
2021年12月期	83,849 (10,264)	50,807 (6,219)	50,697 (6,206)	60.5%

2. 配当の状況

(単位: 米ドル(円))

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年12月期	-	0.00 (0.00)	-	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)
2022年12月期	-				
2022年12月期(予想)		0.00 (0.00)	-	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位: 千米ドル(百万円)、%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり当期 利益(米ドル、円)	
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率
通期	79,624 (9,747)	8.9%	9,686 (1,186)	23.1%	9,715 (1,189)	28.6%	7,791 (954)	56.1%	7,791 (954)	56.1%	0.39 (47.71)	25.5%

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①SFRS (I) 及びIFRSにより要求される会計方針の変更：無

②①以外の会計方針の変更：無

③会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期 1 Q	19,991,076 株	2021年12月期	19,626,676 株
②期末自己株式数	2022年12月期 1 Q	- 株	2021年12月期	- 株
③期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期 1 Q	19,918,196 株	2021年12月期 1 Q (注)	15,881,275 株

(注) 当社は、2021年4月1日に、当社の親会社であるYCP Holdings Limited（現・Y Asset Management Limited）からその子会社及び関連会社（以下、当社を含めて「当社グループ」といいます。）の株式の現物出資を受ける組織再編を実施したことにより、当社が当社グループの持株会社となりました。実質的に、当社グループは同社及びその子会社の継続会社であるため、株式割当が2020年1月1日に完了したと仮定しています。

※本決算短信は、日本の金融商品取引法に基づく独立監査人による監査手続の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2021年4月1日に、当社の親会社であるYCP Holdings Limited（現・Y Asset Management Limited）からその子会社及び関連会社の株式の現物出資を受ける組織再編を実施したことにより、当社が当社グループの持株会社となり、実質的に、当社グループは同社及びその子会社の継続会社です。同社の連結財務諸表を引き継ぎ、当社は前連結会計年度（2021年1月1日から2021年12月31日まで）の連結財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）キャッシュ・フローの状況	3
（4）連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
（1）要約四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
（2）要約四半期連結財政状態計算書	6
（3）要約四半期連結持分変動計算書	7
（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（セグメント情報）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益は20,236千米ドル（2,477百万円）と前年同期に比べ3,602千米ドル（441百万円、21.7%）の増収、営業利益は2,163千米ドル（265百万円）と前年同期と比べ570千米ドル（70百万円、35.8%）の増益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,257千米ドル（154百万円）と前年同期と比べ465千米ドル（57百万円、58.7%）の増益となりました。四半期包括利益については、当第1四半期連結累計期間において、日本円が対米ドルで6.4%円安が進み、税引後その他の四半期包括利益で2,452千米ドル（300百万円）の損失を計上したことにより、1,203千米ドル（147百万円）の損失となっております。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

（マネジメントサービス事業）

マネジメントサービス事業は、アジアを中心とする世界17拠点にて、2022年3月31日現在で約250名のプロフェッショナルが、クライアント企業に対してM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型（PMO型）の各種経営支援を提供しております。

当事業においては、主要な地域の中で、引き続き米中関係の緊張や新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けたグレートチャイナ地域では売上収益が55千米ドル（7百万円、3.4%）の減収となったものの、新型コロナウイルス感染症対策が軽減しつつある東南アジア地域では前年同期比720千米ドル（88百万円、30.6%）の増収、日本地域においても1,147千米ドル（140百万円、23.0%）の増収となっております。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は11,691千米ドル（1,431百万円、前年同期は9,550千米ドル（1,169百万円））（セグメント間収益含む）、セグメント損益は3,090千米ドル（378百万円）の利益（前年同期は2,510千米ドル（307百万円）の利益）となりました。

マネジメントサービス事業における、当第1四半期連結累計期間及び前年同期の地域別売上収益の内訳は以下の通りです。

（地域別売上収益の内訳）	当第1四半期連結累計期間 （2022年1月1日～2022年3月31日）		前第1四半期連結累計期間 （2021年1月1日～2021年3月31日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
日本	6,137	751	4,990	611
東南アジア	3,072	376	2,352	288
グレートチャイナ	1,573	193	1,628	199
インド	141	17	55	7
中東	530	65	478	59
欧州	282	35	119	15
北米	624	76	354	43
グループ間取引消去	△1,047	△128	△873	△107
合計	11,312	1,385	9,103	1,114

（プリンシパル投資事業）

プリンシパル投資事業は、マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小／新興企業に対して当社グループ自らの資金を投下する他、ゼロから事業立ち上げを伴うインキュベーションにも積極的に取り組んでおります。これまでの投資活動の結果、現在では、パーソナルケア領域及びペットケア領域を重点領域と定め長期的な投資を継続しております。また、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も、戦略投資領域として積極的に投資を行っております。

パーソナルケア領域は、主要な連結子会社である株式会社SOLIAを通じて、「ALOBABY（アロベビー）」「HALENA（ハレナ）」「AMBiQUE（アンビーク）」「MELCE（メルス）」などのパーソナルケア商材をアジア全域に展開しております。

当領域においては、特に「ALOBABY（アロベビー）」及び「AMBiQUE（アンビーク）」の新規顧客が増加し、売上収益が前年同期比で1,255千米ドル（154百万円）増加しました。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は5,257千米ドル（644百万円、前年同期は4,002千米ドル（490百万円））、セグメント損益は279千米ドル（34百万円）の利益（前年同期は229千米ドル（28百万円）の利益）となりました。

ペットケア領域は、主要な連結子会社である株式会社ライフメイト動物病院グループを通じて、動物病院運営を中心に事業を展開しています。

当領域においては、診療単価の高い外科・内科治療の需要は引き続き堅調に推移し、売上収益について前年同期と同水準となりつつ、病院運営の効率化を進め、収益性が高まっております。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は1,294千米ドル（158百万円、前年同期は1,295千米ドル（159百万円））、セグメント損益は25千米ドル（3百万円）の利益（前年同期は17千米ドル（2百万円）の損失）となりました。

戦略投資領域は、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資として、主に日本以外のアジア各国における飲食事業やシニア向けサービスといった事業に投資を行っております。

当領域においては、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減したシンガポールにおいては業績が改善したものの、香港においては感染拡大と共に飲食店営業が規制されたことで業績が悪化、全体では若干の持ち直しとなっております。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は2,474千米ドル（303百万円、前年同期は2,362千米ドル（289百万円））、セグメント損益は346千米ドル（42百万円）の損失（前年同期は457千米ドル（56百万円）の損失）となりました。

以上の当社グループの売上収益をまとめると以下のとおりです。

(グループの売上収益の内訳)	当第1四半期連結累計期間 (2022年1月1日～2022年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2021年1月1日～2021年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
マネジメントサービス事業	11,691	1,431	9,550	1,169
プリンシパル投資事業 (内訳)	9,025	1,105	7,659	938
パーソナルケア領域	5,257	644	4,002	490
ペットケア領域	1,294	158	1,295	159
戦略投資領域	2,474	303	2,362	289
グループ間取引消去	△ 480	△ 59	△ 575	△ 70
合計	20,236	2,477	16,634	2,036

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は80,385千米ドル（9,840百万円、前連結会計年度83,849千米ドル（10,264百万円））となり、前連結会計年度比3,464千米ドル（424百万円）減少となりました。これは主に、現金及び預金が3,170千米ドル（388百万円）減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は28,299千米ドル（3,464百万円、前連結会計年度末は33,042千米ドル（4,045百万円））となり4,743千米ドル（581百万円）減少となりました。これは主に、営業債務以外の短期債務が2,265千米ドル（277百万円）減少した等によるものであります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は52,086千米ドル（6,376百万円、前連結会計年度末は50,807千米ドル（6,219百万円））となり、前連結会計年度末比1,279千米ドル（157百万円）増加となりました。これは主に、当社の新規上市に伴って行われたオーバーアロットメントによる募集に関連して、第三者割当増資が行われたことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計期間末より3,170千米ドル（388百万円）増加し、35,343千米ドル（4,326百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、1,498千ドル（183百万円、前第1四半期連結累計期間は167千ドル（20百万円）の増加）となりました。これは主に、営業債権が1,804千ドル（221百万円）増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、41千ドル（5百万円、前第1四半期連結累計期間は1,273千ドル（156百万円）の減少）に留まりました。当第1四半期連結累計期間においては大規模な投資を執行しておりません。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、438千ドル（54百万円、前第1四半期連結累計期間は1,495千ドル（183百万円）の減少）となりました。これは主に、当社の新規上場に伴って行われたオーバーアロットメントによる募集に関連して、第三者割当増資が行われたことによるものであります。

（4）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上計画はセグメント別（マネジメントサービス事業においては各地域別）に作成した売上収益を合算して算出しております。各セグメントの売上収益は、過年度の実績や当該セグメントの特性及び個別事情等を考慮して、個別に積上げ、計画に反映しております。

マネジメントサービス事業は、引き続き世界的な新型コロナウイルス感染症の発生状況を注視しつつもその影響は軽微になっており、採用活動も順調に進めていることから着実な売上拡大を見込んでおります。また、プリンシパル投資事業においても、重点領域であるパーソナル領域及びペットケア領域における新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であり、今後もマーケティング施策の拡大や動物病院のM&Aを通じて着実に売上拡大を図ってまいります。一方で、戦略投資領域における香港・シンガポールでの飲食事業や日本でのシニア向けサービスについては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいため、慎重な見通しを維持しております。

また、当社グループの事業内容から、グループ全体においてロシア・ウクライナ情勢における影響は軽微と考えております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

	当第1四半期連結累計期間 (2022年1月1日～ 2022年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2021年1月1日～ 2021年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	20,236	2,477	16,634	2,036
売上原価	△5,873	△719	△4,971	△609
売上総利益	14,363	1,758	11,663	1,428
その他の収益	△73	△9	△123	△15
販売費	△3,096	△379	△2,103	△257
一般管理費	△8,993	△1,101	△7,788	△953
その他の営業費用	△38	△5	△56	△7
営業利益	2,163	265	1,593	195
金融収益	1	0	1	0
金融費用	△67	△8	△114	△14
持分法による投資損益	△75	△9	△66	△8
税引前四半期利益	2,022	248	1,414	173
法人所得税費用	△773	△95	△622	△76
四半期利益	1,249	153	792	97
四半期利益の帰属:				
親会社の所有者	1,257	154	792	97
非支配持分	△8	△1	0	0
その他の包括利益(損失)				
純損益に振り替えられる可能性のある その他の四半期包括利益(損失):				
在外営業活動体の換算差額	△2,437	△298	△620	△76
持分法のその他の包括利益	△15	△2	△16	△2
税引後その他の四半期包括利益(損失)	△2,452	△300	△636	△78
四半期包括利益(損失)合計	△1,203	△147	156	19
四半期包括利益(損失)の帰属:				
親会社の所有者	△1,193	△146	159	19
非支配持分	△10	△1	△3	△0
親会社の所有者に帰属する1株当たり利益: 基本及び希薄化後(米セント/円)	6.31	7.72	4.99	6.10

（2）要約四半期連結財政状態計算書

	当第1四半期連結累計期間 (2022年3月31日)		前連結会計年度 (2021年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
非流動資産				
有形固定資産	800	98	926	113
使用権資産	3,767	461	4,019	492
のれん	13,336	1,632	13,687	1,675
無形資産	1,528	187	1,603	196
関連会社に対する投資	214	26	304	37
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	8,090	990	8,858	1,084
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	840	103	871	107
繰延税金資産	1,174	144	1,339	164
非流動資産合計	29,749	3,642	31,607	3,869
流動資産				
棚卸資産	2,542	311	2,539	311
営業債権	9,357	1,145	7,786	953
契約資産	1,052	129	942	115
その他の流動資産	2,194	269	2,314	283
現金及び預金	35,491	4,344	38,661	4,732
流動資産合計	50,636	6,198	52,242	6,395
流動負債				
営業債務	2,601	318	2,533	310
営業債務以外の短期債務	8,991	1,101	11,256	1,378
有利子負債	5,099	624	5,494	673
リース負債	2,117	259	2,271	278
未払法人所得税	989	121	1,561	191
流動負債合計	19,797	2,423	23,115	2,830
正味流動資産（負債）	30,839	3,775	29,127	3,565
正味流動資産及び非流動資産合計	60,588	7,417	60,734	7,434
非流動負債				
営業債務以外の長期債務	521	64	545	67
有利子負債	5,813	712	7,101	869
リース負債	1,819	223	1,927	236
繰延税金負債	226	28	229	28
退職給付に係る負債	123	15	125	15
非流動負債合計	8,502	1,041	9,927	1,215
純資産	52,086	6,376	50,807	6,219
資本				
親会社の所有者に帰属する持分				
資本金	35,423	4,336	32,993	4,039
剰余金	16,563	2,027	17,704	2,167
	51,986	6,364	50,697	6,206
非支配持分	100	12	110	13
資本合計	52,086	6,376	50,807	6,219

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)

単位：千米ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	退職給付 制度の 再測定額	合計		
2021年1月1日残高	-	5,169	368	15,576	△5	21,108	75	21,183
	-	(633)	(45)	(1,907)	(△1)	(2,584)	(9)	(2,593)
四半期利益	-	-	-	792	-	792	0	792
	-	-	-	(97)	-	(97)	(0)	(97)
その他の四半期包括利益 (損失)								
在外営業活動体の 換算差額	-	-	△617	-	-	△617	△3	△620
持分法のその他の 包括利益	-	-	(△76)	-	-	(△76)	(△0)	(△76)
	-	-	△16	-	-	△16	-	△16
	-	-	(△2)	-	-	(△2)	-	(△2)
四半期包括利益(損失)	-	-	△633	792	-	159	△3	156
合計	-	-	(△77)	(97)	-	(19)	(△0)	(19)
新株の発行	0	-	-	-	-	0	-	0
	(0)	-	-	-	-	(0)	-	(0)
2021年3月31日残高	0	5,169	△265	16,368	△5	21,267	72	21,339
	(0)	(633)	(△32)	(2,004)	(△1)	(2,603)	(9)	(2,612)

当第1四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年3月31日)

単位：千米ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	新株 予約権	退職給付 制度の 再測定額	合計		
2022年1月1日残高	32,993	△1,972	△963	20,527	123	△11	50,697	110	50,807
	(4,039)	(△241)	(△118)	(2,513)	(15)	(△1)	(6,206)	(13)	(6,219)
四半期利益	-	-	-	1,257	-	-	1,257	△8	1,249
	-	-	-	(154)	-	-	(154)	(△1)	(153)
その他の四半期包括利益 (損失)									
在外営業活動体の 換算差額	-	-	△2,436	-	-	1	△2,435	△2	△2,437
持分法のその他の 包括利益	-	-	(△298)	-	-	(0)	(△298)	(△0)	(△298)
	-	-	△15	-	-	-	△15	-	△15
	-	-	(△2)	-	-	-	(△2)	-	(△2)
四半期包括利益(損失)	-	-	△2,451	1,257	-	1	△1,193	△10	△1,203
合計	-	-	(△300)	(154)	-	(0)	(△146)	(△1)	(△147)
新株の発行	2,641	-	-	-	-	-	2,641	-	2,641
	(323)	-	-	-	-	-	(323)	-	(323)
株式発行費用	△211	-	-	-	-	-	△211	-	△211
	(△26)	-	-	-	-	-	(△26)	-	(△26)
新株予約権の発行	-	-	-	-	52	-	52	-	52
	-	-	-	-	(6)	-	(6)	-	(6)
2022年3月31日残高	35,423	△1,972	△3,414	21,784	175	△10	51,986	100	52,086
	(4,336)	(△241)	(△418)	(2,667)	(21)	(△1)	(6,364)	(12)	(6,376)

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第1四半期連結累計期間 (2022年1月1日～ 2022年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2021年1月1日～ 2021年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前四半期利益	2,022	248	1,414	173
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整:				
金融収益	△1	△0	△1	△0
純損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の評価損益	246	30	261	32
新型コロナウイルス感染症に関連した 賃料減免	△19	△2	△20	△2
減価償却費（有形固定資産）	134	16	187	23
減価償却費（使用権資産）	781	96	949	116
その他の償却費（無形資産）	68	8	62	8
棚卸資産評価損	5	1	10	1
有形固定資産売却損	-	-	1	0
リース資産除却損益（△は利益）	△0	△0	△4	△0
貸倒損失・引当金等（△は戻入）	1	0	3	-
金融費用	67	8	114	14
持分法による投資純損益（△は利益）	75	9	66	8
新株予約権の発行	52	6	-	-
運転資本の変動前の営業キャッシュ・インフロー	3,431	420	3,042	372
運転資本の変動:				
その他の流動資産の増減額（△は増加）	86	11	1,045	128
契約資産の増加	△114	△14	△700	△86
棚卸資産の増減額（△は増加）	△114	△14	△263	△32
営業債権の増減額（△は増加）	△1,804	△221	△313	△38
営業債務の増減額（△は減少）	174	21	945	116
営業債務以外の債務の増減額（△は減少）	△1,953	△239	△2,165	△265
小計	△294	△36	1,591	195
法人所得税の支払額	△1,204	△147	△1,424	△174
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,498	△183	167	20
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息の受取額	1	0	1	0
有形固定資産の取得による支出	△42	△5	△54	△7
無形資産の取得による支出	-	-	△105	△13
子会社及び事業の取得による支出	-	-	△1,115	△136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41	△5	△1,273	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式の発行による払込	2,641	323	-	-
株式発行費用の支出	△211	△26	-	-
借入による収入	180	22	420	51
借入金の返済による支出	△1,413	△173	△1,090	△133
リース負債の返済による支出	△693	△85	△741	△91
支払利息（リース負債）	△19	△2	-	-
利息の支払額	△47	△6	△84	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	438	54	△1,495	△183
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,101	△135	△2,601	△318
現金及び現金同等物の期首残高	38,513	4,714	9,678	1,185
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△2,069	△253	△440	△54
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,343	4,326	6,637	812
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び預金	35,343	4,326	6,637	812

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関であるグループ取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、クライアント企業に対してM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型（PMO型）の各種経営支援を提供する「マネジメントサービス」と、中小・振興企業に対するリスクマネーの提供やゼロベースから事業をインキュベーションする「プリンシパル投資」の2事業を展開しております。さらに「プリンシパル投資」においては、「パーソナルケア領域」及び「ペットケア領域」を重点領域と定め長期的な投資を継続している他、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も「戦略投資領域」として積極的に投資を行っております。

従って、当社グループは、「マネジメントサービス事業」「パーソナルケア領域」「ペットケア領域」「戦略投資領域」の4つの事業もしくは領域を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年3月31日)

(単位：千米ドル(百万円))

	報告セグメント				合計
	マネジメント サービス	パーソナル ケア	ペットケア	戦略投資	
外部収益	11,312 (1,385)	5,242 (642)	1,294 (158)	2,388 (292)	20,236 (2,477)
セグメント間収益	379 (46)	15 (2)	- -	86 (11)	480 (59)
計	11,691 (1,431)	5,257 (644)	1,294 (158)	2,474 (303)	20,716 (2,536)
セグメント間収益の相殺					△480 (△59)
収益合計					20,236 (2,477)
非資金取引前セグメント損益	3,572 (437)	308 (38)	127 (16)	328 (40)	4,335 (531)
非資金取引					
貸倒損失・引当金等	-	-	△1 (△0)	-	△1 (△0)
棚卸資産廃棄損	-	△5 (△1)	-	-	△5 (△1)
有形固定資産減価償却費	△383 (△47)	△20 (△2)	△87 (△11)	△425 (△52)	△915 (△112)
無形資産減価償却費	△47 (△6)	△4 (△0)	△14 (△2)	△3 (△0)	△68 (△8)
純損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の評価益	-	-	-	△246 (△30)	△246 (△30)
新株予約権の発行	△52 (△6)	-	-	-	△52 (△6)
セグメント損益	3,090 (378)	279 (34)	25 (3)	△346 (△42)	3,048 (373)
配賦不能親会社管理部門費用					△885 (△108)
営業利益					2,163 (265)
金融収益					1 (0)
金融費用					△67 (△8)
持分法による投資損益					△75 (△9)
税引前利益					2,022 (248)

前第1四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)

(単位：千米ドル(百万円))

	報告セグメント				合計
	マネジメント サービス	パーソナル ケア	ペットケア	戦略投資	
外部収益	9,103 (1,114)	3,978 (487)	1,295 (159)	2,258 (276)	16,634 (2,036)
セグメント間収益	447 (55)	24 (3)	- -	104 (13)	575 (70)
計	9,550 (1,169)	4,002 (490)	1,295 (159)	2,362 (289)	17,209 (2,107)
セグメント間収益の相殺					△575 (△70)
収益合計					16,634 (2,036)
非資金取引前セグメント損益	3,161 (387)	258 (32)	79 (10)	236 (29)	3,734 (457)
非資金取引					
貸倒損失・引当金等(戻入)	- -	- -	△3 (△0)	- -	△3 (△0)
棚卸資産評価損	- -	△10 (△1)	- -	- -	△10 (△1)
減価償却費	△612 (△75)	△12 (△1)	△87 (△11)	△425 (△52)	△1,136 (△139)
その他の償却費	△46 (△6)	△7 (△1)	△6 (△1)	△3 (△0)	△62 (△8)
有形固定資産除売却損益	- -	- -	- -	△1 (△0)	△1 (△0)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価益	- -	- -	- -	△261 (△32)	△261 (△32)
リース資産除売却損益	7 (1)	0 (0)	- -	△3 (△0)	4 (0)
セグメント損益	2,510 (307)	229 (28)	△17 (△2)	△457 (△56)	2,265 (277)
配賦不能親会社管理部門費用					△672 (△82)
営業利益					1,593 (195)
金融収益					1 (0)
金融費用					△114 (△14)
持分法による投資損益					△66 (△8)
税引前利益					1,414 (173)